

# 在宅で吸引処置をされる方へ

(気管内、口腔・鼻腔吸引用：小児・新生児版)

旭川医科大学病院

2011年12月 地域医療連携室 作成

2013年1月 「小児・新生児版」に改訂

2015年4月 改訂

2017年6月 改訂

2020年12月 改訂





# 気管内の吸引処置について

## <手技>

吸引方法は **気管** からの吸引です。

## <気管切開とは>

- 気管切開とは、口や鼻から呼吸をすることが難しい場合、気管という空気の通り道に直接穴をあけ、「気管カニューレ」という器具を挿入して空気の通り道を確保する方法です。
- 気管カニューレによって空気の通り道を確保できますが、入っている刺激により痰が出やすくなります。
- 気管吸引が必要なお子さまの場合、口や鼻からの分泌物が多く、飲み込みが苦手なことがあるため、口腔・鼻腔の吸引も行う必要があります。

## <吸引の目的>

気道を確保し、肺炎などを予防するために、気管内の分泌物、口腔・鼻腔内の唾液や食べ残しなどを取り除きます。

## <行うタイミング>

- 痰が多くてゼコゼコしているとき
- 咳などでは痰を出すことができないとき
- お風呂の前後や、栄養注入の前後
- Yガーゼや気管カニューレ交換の前後 など



# 気管内の吸引処置について

## <必要物品>

### 1. 吸引器（機器名： \_\_\_\_\_ ）

➤ 購入もしくは業者からのレンタルになります。



### 2. 吸引カテーテル（種類： トップ \_\_\_\_\_ Fr 40cm ）

➤ 気管吸引用は、1日3本くらいを目安に交換します。

➤ 口腔・鼻腔吸引用は、1～2日で1本を目安に交換します。



### 3. 容器にいれた水道水

➤ 水道水は1分ほど流した新しい水を用意してください。水道水の塩素が消毒のためには重要なので、地下水や浄水器の水は使用しないでください。

➤ 容器は紙コップであれば1日1回交換、専用カップを用意する場合は1日1回は洗浄し乾燥させてください。

➤ 1回の吸引ごとに新しい水を準備し、終了後は捨てましょう。

### 4. アルコール綿

➤ 必要なカテーテルの本数に合わせてお渡しします。





# 気管内の吸引処置について

## <手順>

1. 石鹼で手をきれいに洗い、手指消毒薬で消毒します。
2. 吸引器側についているチューブと吸引カテーテルを接続します。
3. 吸引圧を \_\_\_\_\_ に設定します。
  - 圧が高いと、口腔・鼻腔内の粘膜を傷つけるので、指示された圧を守りましょう。
4. 吸引カテーテルの根元を親指で押さえて折り曲げ、吸引圧がかからないようにして、吸引カテーテルを \_\_\_\_\_ cm程度、ゆっくりと気管カニューレに入れます。
  - 圧をかけた状態でカテーテルを入れると、気管を傷つけてしまうことがあります。
  - カテーテルを深く入れ過ぎると、出血や肉芽<sup>1)</sup>の原因になることがあります。
  - <sup>1)</sup>肉芽(にくげ)とは、同じ場所に繰り返し刺激が加わることで発生する、皮膚や粘膜の盛り上がりのことです。できる位置によっては、呼吸の妨げになることがあります。
5. 入れたら押さえていた親指を離し、吸引カテーテルを指をこすり合わせるようにして回転させながらゆっくりと抜きます。
  - 吸引した痰の観察をしましょう。
  - 1回の吸引は3～5秒以内が目安です。
6. カップ内の水道水を通して、カテーテルの内側に付着した痰や唾液を取り除きます。
  - 繰り返し吸引の必要がある場合は、4～6の手順を繰り返します。
7. 吸引後のカテーテルの外側は、アルコール綿で拭き取り、完全に乾かします。
8. 洗浄後のカテーテルは吸引器から取り外して乾燥させます。
9. 石鹼で手洗いをして終了です。





# 気管内吸引の注意事項

## <手技の注意点>

- 吸引カテーテルが入りにくいときや入らないときは、無理に押し込まないで下さい。呼吸の様子や顔色を確認、体位の調整を行い、落ち着いてもう一度吸引しましょう。
- 痰の量が多くて1度では取りきれない場合は、呼吸が落ち着くのを待って、もう一度吸引を行ってください。
- 吸引カテーテルは清潔に扱ってください。
  - 吸引カテーテルの先端は、直接手で触れたり、周囲のものに触れないよう注意してください。
  - 吸引カテーテルを繰り返し使用する場合は、水を通してから、アルコール綿で外側を拭きとってから使用した方が衛生的です。続けて使用するときには、アルコールが乾いてから使用してください。使用しないときは拭き取り後、乾燥させてください。

## <観察のポイント>

- ① 呼吸状態(息を止めていないか、苦しそうではないか)
- ② 顔色(白っぽくないか、赤くないか)
- ③ 唇の色(紫色になってないか)
- ④ 痰の固さ(水っぽいか、粘りが強いかな)
- ⑤ 痰の色(黄色・緑色・ピンク色など)
- ⑥ カテーテルがスムーズに気管の中に入っていくか



呼吸が苦しそうな状態が続くとき、黄緑色のドロツとした痰が続くとき、出血が止まらないとき、カテーテルが入りにくいとき、などは、医療機関に連絡・相談してください。



# 気管内吸引の注意事項

## <日常生活の注意点>

- お風呂に入る時は、気管カニューレにお湯が入らないように注意してください。
- 寝返りでうつ伏せになったり、掛け物で気管カニューレが塞がらないよう気を付けてください。人工鼻は外れやすいので、お子さまの様子をよくみていてください。
- 衣服は、必要な時にすぐに吸引ができるよう、気管カニューレを上から覆わない物を選んでください。
- 空気が乾燥すると、痰が硬くなり気管カニューレが詰まりやすくなります。室内は適度に加湿しましょう。

## <人工鼻を使用する場合>

- 鼻の粘膜には、加湿や加温、空気中のほこり・菌を取り除く役割があり、気管切開後は、人工鼻がその働きをします。気管カニューレの先端に取り付けて使用します。
- 1日1回、または人工鼻のフィルターが汚れたときに、新しいものと交換します。
- 体格や痰の固さに合わせて、人工鼻の種類は変更になります。使用するものは、入院中に医師・看護師と相談しましょう。

## <気管カニューレ周囲の皮膚の観察とケア>

- 気管切開部は、痰などの汚れやカニューレの圧迫などで、皮膚が赤くなったり、ただれたりしやすい場所です。痰や汚れはこまめにふき取り、必要であれば石鹸できれいに洗い、清潔を保ってください。また、ネックホルダーの固定を調整してください。
- 分泌物が多く、汚染が強い場合や、気管カニューレによる圧迫が強い場合は、気管カニューレと首の間にYガーゼを挟み、周囲の皮膚を保護します。赤くただれたり、潰瘍（ジュクジュクした深い傷）ができてしまった場合は、医師に相談してください。





# Yガーゼの交換

- 気管切開部は、気管カニューレの刺激で肉芽（皮膚や粘膜の盛り上がり）ができやすく、痰の漏れによる汚染で炎症を起こしやすい部位です。これらの皮膚トラブルを防ぐために、首と気管カニューレの間にガーゼを挟みます。
- このガーゼは、1日1回また汚染時は交換する必要があります。

## <Yガーゼの交換方法>

### 1) 必要物品

新しいYガーゼ、ピンセット（必要時）

### 2) 手順

- ① 手洗いをして、必要な物品を準備します。
- ② お子さまの体位の調整、気管分泌物の除去を行います。
- ③ お子さまの頭と体全体、気管カニューレを固定し、安全を確保します。
- ④ 片側のネックホルダーを少しだけゆるめ、Yガーゼを引き抜きます。
  - この時、気管カニューレの位置がずれたり抜けたりしないよう、十分に注意して行って下さい。
- ⑤ 新しいYガーゼを挟み込みます
  - 指での作業が難しい場合、ピンセットを使用すると作業しやすくなります。ピンセットを使用する場合は、首の皮膚を挟まないように注意してください。
- ⑥ ゆるめたネックホルダーの固定を元に戻します。

### 3) 注意点

- ネックホルダーやガーゼの交換は、お子さまの安静が保てているとき、もしくは機嫌のよいときで、緊急時の対応ができるよう、人員が確保できているときに実施します。



# ネックホルダーの交換

- ネックホルダーは、気管カニューレを適切な位置に固定する装具です。市販のものもありますが、手作りも可能です。
- きつく締めすぎると皮膚トラブルの原因になります。ゆるみがありすぎると気管カニューレが抜けやすくなります。首とネックホルダーの間に指が1本入る程度のゆとりがある状態が適切です。
- 入浴後や汚れた場合には、皮膚トラブルの原因になるため交換してください。

## <ネックホルダーの交換方法(首の清拭、Yガーゼ交換を同時に行う場合)>

### 1) 必要物品

新しいネックホルダー、新しいYガーゼ、ガーゼやタオル

### 2) 手順

- ① 手洗いをして、必要な物品を準備します。
- ② お子さまの体位の調整、気管分泌物の除去を行います。
- ③ 長さを調整したネックホルダーを首の下にセッティングします。
- ④ 1人がお子さまの頭と体全体、気管カニューレを固定し、安全を確保します。もう1人がネックホルダーを外し、皮膚の観察と首の清拭を行います。
- ⑤ 汚れたYガーゼを片方だけ外し、気管カニューレがずれないように注意しながら皮膚の観察と清拭を行います。
- ⑥ 新しいYガーゼを挟み込み、新しいネックホルダーのマジックテープを気管カニューレのウイングの穴に通し、しっかりと固定します。
- ⑦ 気管カニューレを固定する役割を交替し、お子さまの顔の向きを変えて、反対側も同様の手順で実施します。
  - 気管カニューレが抜けてしまう危険が最も高まるのが、この段階です。声を掛け合いながらゆっくりと注意深く実施して下さい。
- ⑧ 気管カニューレの位置、ネックホルダーの固定、お子さまの様子や呼吸状態の異常がないかを確認します。ネックホルダーは軽く左右に引き、マジックテープが外れないか確認します。

### 3) 注意点

- ネックホルダーやガーゼの交換は、お子さまの安静が保てる時、もしくは機嫌のよいときで、緊急時の対応ができるよう、人員が確保できている時に実施します。





# 気管カニューレの交換

- 気管カニューレの交換は、清潔保持と感染防止、痰による閉塞防止と閉塞したときの緊急時対処のために行います。原則的には外来で定期的に行います。
- 吸引カテーテルに引っかかりがあり吸引カテーテルが入らないとき、気管カニューレが抜けてしまったときは、自宅での交換が必要なことがあります。
- 閉塞して呼吸が苦しそうなときは、気管カニューレを交換してから病院に連絡し、対応を相談して下さい。

## <気管カニューレの交換方法>

### 1) 必要物品

気管カニューレ(種類・サイズ：  
ネックホルダー、注射器(カフ付きの場合)

### 2) 手順

- ① 首の下にネックホルダーをセッティングし、気管孔が見えるように肩枕などをいれ体位を調整します。ネックホルダーの長さの目安は、首との間に指が1本入る程度です。
- ② カフ付きの場合は、注射器でカフの空気を抜きます。
- ③ 気管カニューレを、Cの字を書くように挿入します。
- ④ カフ付きの場合、注射器を使用し決められた空気を入れます(カフ: \_\_\_\_\_ mL)。
- ⑤ ネックホルダーを調整し固定します。

### 3、注意点

- 挿入の刺激で痰や咳が出ますが、あわてずに固定した後で吸引してください。
- 気管カニューレの交換は栄養の注入のあと1時間以内は避けてください。交換時の刺激で吐き気が誘発され、嘔吐することにより誤嚥を起こすことがあります。



# 口腔・鼻腔内の吸引処置について

## <手技>

吸引方法は 口腔・鼻腔 からの吸引です。

## <吸引の目的>

気道を確保し、肺炎などを予防するために、口腔・鼻腔内の唾液や分泌物、食べ残しなどを取り除きます。

飲み込みが苦手で、自分では痰や唾液などの分泌物を取り除くことが難しい場合に必要となります。

## <行うタイミング>

- 口や鼻に分泌物がたまって、苦しそうなとき
- 嘔吐したとき
- 栄養注入の前後など



## <必要物品>

1. 吸引器 ( 機器名: \_\_\_\_\_ )

- 購入もしくは業者からのレンタルになります。

2. 吸引カテーテル ( 種類: トップ \_\_\_\_\_ Fr 40cm )

- ご自宅では口腔・鼻腔内は1日に1本のペースで交換します。  
痰の量や、性状によって必要な数を相談します。



3. 容器にいれた水道水

- 水道水は1分ほど流した新しい水を用意しましょう。水道水の塩素が消毒のためには重要なので、地下水や浄水器の水は使用しないでください。
- 容器は紙コップであれば1日1回交換、専用カップを用意する場合は1日1回は洗浄し乾燥させましょう。
- 1回の吸引ごと、水は新しいものを準備し、終了後は捨てましょう。



4. アルコール綿

- 必要なカテーテルの本数に合わせてお渡しします。



# 口腔・鼻腔内の吸引処置について

## <手順>

1. 石鹼で手をきれいに洗い、手指消毒薬で消毒します。
2. 吸引器側についているチューブと吸引カテーテルを接続します。
3. 吸引圧を \_\_\_\_\_ に設定します。
  - 圧が高くと、口腔・鼻腔内の粘膜を傷つけるので、指示された圧を守りましょう。
4. 吸引カテーテルの根元を親指で押さえて折り曲げ、吸引圧がかからないようにして、口の中(奥まで入れない)または鼻( \_\_\_\_\_ cmくらい)にゆっくり入れます。

口と鼻、両方の吸引が必要な場合は、口→鼻の順で行います。
5. 入れたら押さえていた親指を離し、吸引カテーテルを指をこすり合わせるようにして回転させながらゆっくりと抜きます。
  - 吸引した痰の観察をしましょう。
  - 1回の吸引は10秒以内が目安です。
6. カップ内の水道水を通して、カテーテルの内側に付着した痰や唾液を取り除きます。
  - 繰り返し吸引の必要がある場合は、4～6の手順を繰り返します。
7. 吸引後のカテーテルの外側は、アルコール綿で拭き取り、完全に乾かします。
8. 洗浄後のカテーテルは吸引器から取り外して乾燥させます。
9. 石鹼で手洗いをして終了です。





# 口腔・鼻腔内吸引の注意事項

## <手技の注意点>

- 吸引カテーテルが入りにくいときや入らないときは、無理に押し込まないでください。
- 吸引中に呼吸状態や様子の変化がみられたときは、一旦、吸引操作を中止します。呼吸が出来ているかを確認し、様子が落ち着いてから再度、吸引を行います。

呼吸が出来ていない場合は、背中をさするなどして呼吸を促してください。  
刺激を行っても呼吸が出来ていない場合や状態が改善しない場合は、  
救急車を呼ぶ・医療機関に連絡・相談してください。



## <観察のポイント>

- ① 呼吸状態（息を止めていないか、苦しそうではないか）
- ② 顔色（白っぽくないか、赤くないか）
- ③ 唇の色（紫色になってないか）
- ④ 痰の固さ（水っぽいか、粘りが強いのか）
- ⑤ 痰の色（黄色・緑色・ピンク色など）

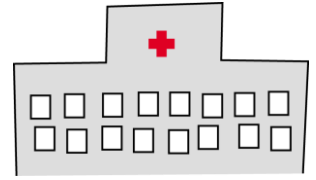


# 口腔・鼻腔内吸引の注意事項

## <日常生活の注意点>

- 口の中が乾燥すると痰が出しにくくなります。ガーゼで口の中を湿らせたり、歯磨きをすることで、口の中の乾燥を予防してください。
- 空気が乾燥していると痰は固くなりやすいので、室内は適度に加湿しましょう。
- 吸引カテーテルは、洗浄して再利用できます。痰が固いときや、外出時・緊急時には、使い捨てにするなど使い分けてください。
- 洗浄した吸引カテーテルは、小さな洗濯用ハンガーなどに吊るして乾燥させると便利です。できるだけ清潔な場所で乾燥させてください。
- 吸引カテーテルは、定期的に新しいものに交換し、燃えないゴミ(地域の指定に従ってください)に捨ててください。
- 吸引瓶に溜まった吸引物はトイレに捨て、毎日流水で洗浄しましょう。
- 吸引器のお手入れは、器械に付属されているパンフレットに沿って実施して下さい。





## 在宅での医療材料の入手方法

- 退院時は、外来受診時までの必要な物品を病棟から渡します。
- 外来受診時は、1か月ごとに栄養管理に必要な物品を、診察時に医師や外来看護師と確認して、1階「**在宅物品受け取り窓口**」で渡します。
- 退院時や外来受診時に物品を渡す場合には、治療費に含めて在宅処置指導管理料が加算されます。疾患や保険の種類、栄養管理以外の処置の有無によって、自己負担額はかわります。

## 緊急時の連絡先

- 気管カニューレが痰でつまっている、気管カニューレが外れてしまった、吸引しても呼吸が苦しい状態が続いている、吸引後の粘膜からの出血が止まらないなど、状態の変化や心配なことがありましたら、下記までご連絡ください。

### <旭川医科大学病院 連絡先>

- 平日8:30~17:00 \_\_\_\_\_科外来 0166-69-\_\_\_\_\_
- 休日・夜間 救急外来受付 0166-66-9901

### <その他連絡先>

- 訪問看護ステーション ( )

ご自宅で安心して過ごせるように、  
これからも支援していきます。  
困ったことがあったら、遠慮せずに教えてください。





# 必要物品チェックリスト(気管切開用) 1か月/4週間分

ご自宅でどの程度物品が必要になるかを一緒に考えましょう。

カニューレ交換時に外来で使う・渡すもの	交換頻度
<input type="checkbox"/> 気管カニューレ( <small>種類・サイズ</small> )	
<input type="checkbox"/> ネックホルダー 種類・サイズ:	

退院・外来受診時渡すもの	使用頻度	個数/4週
<input type="checkbox"/> 吸引カテーテル _____ Fr 40cm	____日__本	本
<input type="checkbox"/> アルコール綿	1日____枚	枚
<input type="checkbox"/> 人工鼻	____日__個	個
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

個人で準備していただくもの	備考
<input type="checkbox"/> Yガーゼ(必要時)	
<input type="checkbox"/> 通し水用のカップ	
<input type="checkbox"/> 洗濯物ホルダー(洗浄して再利用する場合)	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

# 必要物品チェックリスト(口・鼻用) 1か月/4週間分

ご自宅でどの程度物品が必要になるかを一緒に考えましょう。

退院・外来受診時に渡すもの	使用頻度	個数/4週
<input type="checkbox"/> 吸引カテーテル_____Fr 40cm	____日__本	本
<input type="checkbox"/> アルコール綿	1日____枚	枚
<input type="checkbox"/>		本
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

個人で準備していただくもの	備考
<input type="checkbox"/> 通し水用のカップ	
<input type="checkbox"/> 洗濯物ホルダー	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

# 自己購入参考商品例

種類え	商品名		入数	メーカー名
ガーゼ類	Yガーゼ		1箱 50枚	白十字
	ニューRDガーゼ		1箱 300枚	
ネックホルダー	コーケンカニューレホルダー (成人用・小児用)		1箱 10本	高研
	ソフトネックホルダー (大・小)		1箱 10本	コヴィディエン

- 記載商品は一例であり、この限りではありません。
- 外来で渡すものは、処置管理料に含まれています。
- 業者から購入できるもの、病院のローソンで購入できるものもあります。また、薬局・インターネットなどで、安く市販されているものもあります。

# 気管吸引手技自己評価チェックリスト

- A) 看護師の援助なしでできる
- B) 看護師の援助によりできる
- C) 看護師が実施

内 容	/	/	/	/
1. 手洗いをして、必要物品の準備ができる				
2. 吸引前に、声掛けができる				
3. 吸引器の電源をいれ、吸引圧を調節できる				
4. 吸引器側のチューブとカテーテルを接続できる				
5. カテーテルは適切な長さを挿入できる				
6. カテーテル挿入後、痰を吸引できる				
7. 吸引した痰の観察(色・固さ・量)ができる				
8. 1回の吸引時間は3～5秒以内を目安にできる				
9. カテーテル内側の痰をしっかり取り除くため水を吸引できる				
10. カテーテル外側の痰をアルコール綿で取り除くことができる				
11. カテーテルをはずし、乾燥ができる				
12. 吸引器の電源を切り、後始末ができる				
13. 吸引前後に、状態観察ができる				
看護師のサイン				

## その他のチェックポイント

- 気管吸引時の注意事項が言える
- 日常生活の注意事項が言える
- 人工鼻の取り扱いが分かる
- Yガーゼの交換ができる
- ネックホルダーの交換ができる
- 気管切開部の皮膚の観察とケア  
ができる
- 緊急時の対応が分かる
- 緊急連絡先が分かる

## メモ

# 口鼻腔吸引手技自己評価チェックリスト

- A) 看護師の援助なしでできる
- B) 看護師の援助によりできる
- C) 看護師が実施

内 容	/	/	/	/
1. 手洗いをして必要物品の準備ができる				
2. 吸引前に、声掛けができる				
3. 吸引器の電源をいれ、吸引圧を調節できる				
4. 吸引器側のチューブと吸引カテーテルを接続できる				
5. カテーテルは適切な長さを挿入できる				
6. カテーテル挿入後、痰を吸引できる				
7. 吸引した痰の観察(色・固さ・量)ができる				
8. 1回の吸引時間は10秒以内を目安にできる				
9. カテーテル内側の痰をしっかり取り除くため水を吸引できる				
10. カテーテル外側の痰をアルコール綿で取り除くことができる				
11. カテーテルをはずし、乾燥ができる				
12. 吸引器の電源を切り、後始末ができる				
13. 吸引前後に、状態観察ができる				
看護師のサイン				

## その他のチェックポイント

- 口鼻腔吸引時の注意事項が言える
- 日常生活の注意事項が言える

## メモ